

續つてゐる云々

因島と經濟關係ある尾道市から調停するかも知れぬ
因島に於ける一ヶ月に亘る争議は尾道市の經濟界にも影響を及ぼし尾道市商業會
所及び尾道市役所では前途暗澹たる争議の成行を憂慮し向井市長以下
商業會議所書記官尾道警察署長等は二十日朝因島に赴き會社職
をそれぞれ慰問して各工場をつぶさば聽き或は尾道市として調停の勞をとら
うにたうかも知れないといふ。

吳署から警告

因島大阪鐵工所工場の労働争議を交渉が決裂し形勢益々憂慮するものありの
で吳署からは本林部長以下三十六名の巡查警告戒及び取締の應援として二十日
急行した。

判検事来り

争議中の因島土生三庄兩町では廣島地方裁判所阿部檢事正を始め宮

重、小山田兩檢事、尾道支部柳田豫審判事等が陸續として出張し来り何
事かを縣命に取調つて居るので土生三庄兩町民の人心は層不安に襲はれて
居る。

役付職工就業 因島争議

大阪鐵工所因島三庄兩工場の労働争議は十九日拂脱を以て遂に決裂した
ので勿論常備の一般職工は裏切者三三名を除く外は一切入場し存いが職長、小
頭、伍長など役付職工百六七十名は二十日朝から入場就業するに至つた。これ等
は最初から中立として協調的態度を取つてゐたものである。

出業人員

二十日土生三庄兩工場の出場就業者は職長及び資格者百五十七名普通職工三千名諸
員人夫二百名、都合三百八十餘名で長く抛棄されてゐた機械の錆落し、油差しにか
つてゐる。